

## 事業概要シート

施策	2003	ごみの減量化と適正処理の推進	<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	4 R 推進事業	現状維持	予算額 3,254 千円 << 2,931 >>千円
事業期間	~		財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 3,254 千円
根拠法令要綱等	・大村市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 ・容器包装リサイクル法		

**【事業の目的・概要・対象】**

**【目的】**

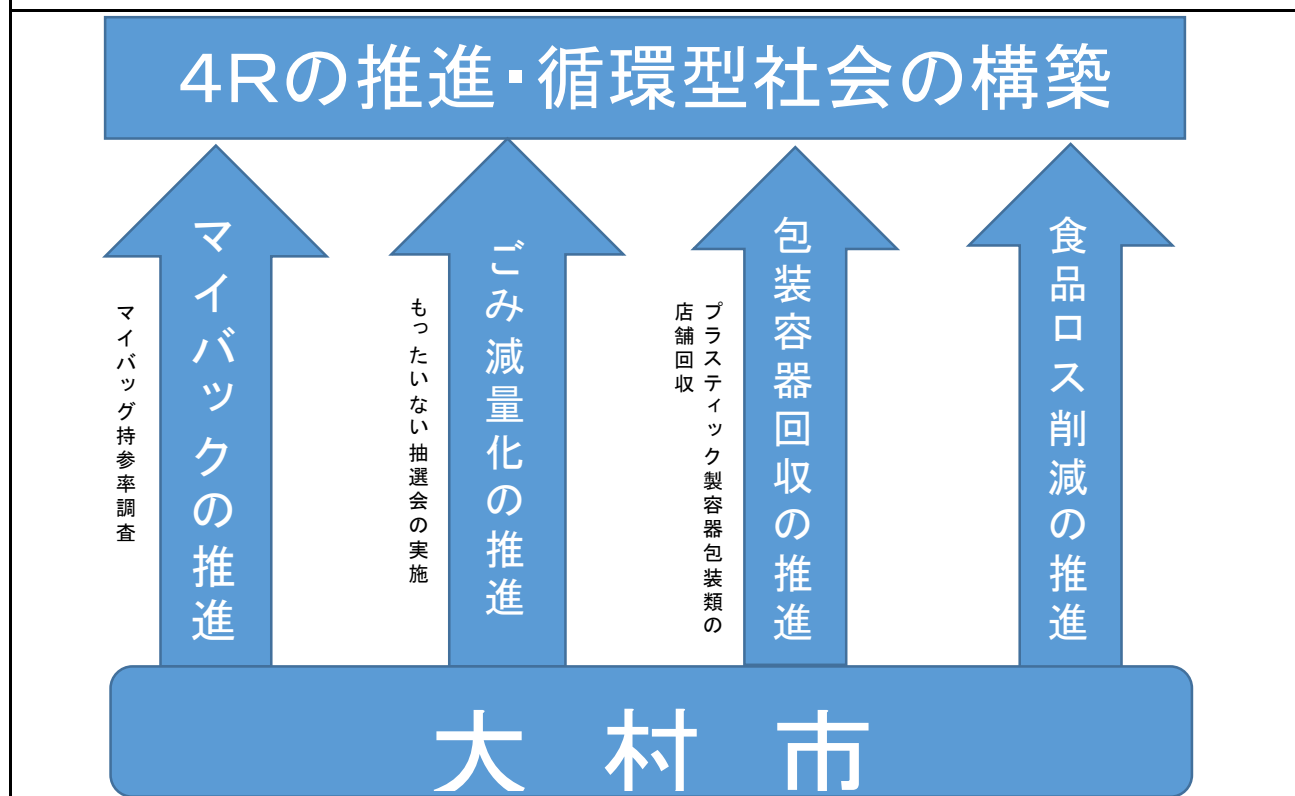
4 R・廃棄物の発生回避（リフューズ）、排出抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）を進めることで、循環型社会の構築を図る。

**【概要】**

資源の節約とごみ減量のため、生ごみ減量化及びマイバッグの利用を推進するとともに、店舗と連携してリサイクルに取り組む。

- 1 毎年2回マイバッグ持参率調査
- 2 毎年2回マイバッグ作り方講習会開催
- 3 モデル店舗に回収ボックス設置し、市民から排出されたプラスチック製容器包装類の回収・リサイクル
- 4 食品ロス削減の啓発
- 5 生ごみリサイクル講座の実施
- 6 もったいない抽選会の実施

**【対象】** 市民



**【背景】**

**【背景】**

1人ひとりが無駄な資源やエネルギーの消費を少なくする意識と行動を定着させるため、また、ごみの減量及びCO2排出量削減が期待できるため、事業を実施するようになった。

担当課	市民環境部環境保全課	課長	白石 勝己
担当者	林田 雅孝	問合せ先	0957-53-4111（内線143）

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	プラスチック製容器包装類のモデル店舗回収量	計画値 t	37.1	44.0	44.0	46.0	47.0
②		計画値					

### 【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	スーパー等でのマイバック使用率 (マイバック使用者数/来客者数)	計画値 %	66.8	79.0	80.0	81.0	82.0
②		計画値					

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	1,202	2,529	2,931	3,254	3,254	3,254	16,424
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	1,202	2,529	2,931	3,254	3,254	3,254	16,424
人件費	4,727	3,272	3,272	3,272	3,272	3,272	21,089
職員(人)	0.65人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	2.90人
時間外勤務(h)	0h	0h	0h	0h	0h	0h	0h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	5,929	5,801	6,203	6,526	6,526	6,526	37,513

妥当性 (市の関与)	循環型社会の構築を図るため、市が率先して4R・廃棄物の発生回避(リフューズ)、排出抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組まなければならない。
有効性 (施策貢献度)	循環型社会の構築、地球温暖化対策であるCO2削減に有効である。
効率性 (コスト)	廃棄物の発生回避(リフューズ)、排出抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)を行うことで、ごみの処分にかかる費用を抑制できる。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり